

問1 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？

1. 輸入企業 2. 小売企業 3. 製造企業 4. 輸出企業

問2 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？

1. 中央銀行 2. 政策金融機関 3. 市中銀行 4. 最後の貸し手

問3 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？

1. 財政政策 2. 金融政策 3. 公共政策 4. 産業政策

問4 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？

1. 資産運用 2. 信用供与 3. 財政投融资 4. 信用創造

問5 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？

1. 金融 2. 財政 3. 貿易 4. 投資

問6 日本銀行が政府の銀行として管理する、国の税収などを指す公的な資金を何という？

1. 準備預金 2. 当座預金 3. 国庫金 4. 普通預金

問7 政府が資金を調達するために発行する債券で、日本銀行が募集や支払いを代行するものを何という？

1. 社債 2. 地方債 3. 国債 4. 外国債

問8 物価が継続的に上昇する中で、消費者が自分の持っているお金でどれだけのモノを買えるかという力を何といいますか？

1. 供給力 2. 生産力 3. 購買力 4. 競争力

問9 円安によって海外からの資源や食料品の購入コストが引き上げられ、家計に負担をかける要因となる経済現象は何ですか？

1. 物価 2. 為替 3. 金利 4. 賃金

問10 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？

1. 発券銀行 2. 一般の銀行 3. 政府の銀行 4. 銀行の銀行

問11 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？

1. 金利 2. 配当 3. 利潤 4. 賃金

問12 市場の需給によって為替レートが変動する仕組みを何という？

1. 金本位制度 2. 固定相場制 3. 変動相場制 4. 管理通貨制度

問13 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？

1. 円高 2. 円安 3. 株高 4. 株安

問14 日本銀行が物価を安定させ、経済を円滑に動かすために、金利の操作などを行って調整することを何といいますか？

1. 労働政策 2. 金融政策 3. 教育政策 4. 財政政策

問15 税金の受け入れや国の予算の管理など、政府の資金を取り扱う日本銀行の役割を何という？

1. 発券銀行 2. 市中の銀行 3. 銀行の銀行 4. 政府の銀行

問16 円高になると、原材料や商品を海外から安く仕入れられるため、経営にプラスの恩恵がある企業を何という？

1. 輸入 2. 中継貿易 3. 輸出 4. 再輸出

答え合わせ・解説

問1	答え 4 輸出企業	円安になると、海外で販売する製品を同じドル価格で売ったとしても、日本円に換算したときの売上高が増えます。また、価格を下げて販売しやすくなるため売れ行きも良くなり、自動車や電機などの輸出企業にとっては追い風となります。
問2	答え 4 最後の貸し手	民間銀行同士でも資金の貸し借りができない異常事態において、日本銀行が資金を貸し出すことで破綻を回避させます。これが「最後の貸し手」としての機能です。この存在があることで、預金者は安心して銀行にお金を預け続けられます。
問3	答え 2 金融政策	日本銀行が行う金融政策は、民間銀行が日本銀行から借りる際の金利を調整したり、市場に出回るお金の量を操作したりすることで、景気をコントロールします。金利を下げれば企業は投資しやすくなり、金利を上げれば景気の過熱を抑える効果があります。
問4	答え 4 信用創造	銀行に預けられたお金の一部が借り手へ渡り、その借り手が別の銀行に預け、その銀行がまた貸し出す…という過程を繰り返すことで、元の現金以上の預金生まれます。このように金融機関が預金を生み出すことを信用創造と呼びます。
問5	答え 1 金融	預金者からお金を預かり、それを企業や個人へ貸し出す銀行などの金融機関がこの仲介役を担います。お金の貸し手は利息を受け取り、借り手は事業や購入のために資金を得ることで、経済活動が活発になります。
問6	答え 3 国庫金	国庫金は、私たちが納めた税金や国が調達した借金などを指し、日本銀行内の口座で管理されています。国が道路を作ったり公務員に給与を払ったりする際は、この口座から必要な金額が引き出され、経済活動に使われます。
問7	答え 3 国債	国債は国が発行する債券で、購入者には利子が支払われます。日本銀行はこの国債の発行事務や、満期を迎えた時の元利金の支払いを代行する役割を担っています。これにより、国債の流通が安定し、スムーズな資金調達が可能になります。
問8	答え 3 購買力	購買力とは、お金を使ってモノやサービスを購入する能力のことです。物価が上がると、これまでと同じ金額を払っても以前ほど多くのモノが買えなくなります。つまり、実質的な購買力が低下し、消費者は生活水準を維持することが難しくなります。
問9	答え 1 物価	円安になると、海外から輸入する品物の価格が日本円換算で高くなります。このコスト増を避けるために販売価格が引き上げられ、結果として国内全体の物価が上昇します。これが家計を圧迫する大きな要因となります。
問10	答え 1 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券を製造・発行する権限を持っています。私たちの手元にあるお札はすべて日本銀行から供給されており、信用ある通貨として全国で通用しています。
問11	答え 1 金利	日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すお金の余裕ができるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやすくなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。
問12	答え 3 変動相場制	1973年以降、主要国は通貨の交換比率を市場の需給関係に応じて毎日、毎時変動させる変動相場制へ移行しました。これにより、各国の経済情勢や金利差、政治状況によって為替レートが柔軟に動くようになっています。
問13	答え 1 円高	円高とは、例えば「1ドル=100円」だったものが「1ドル=80円」になるような状態です。これは以前よりも少ない円で外国の製品を購入できることを意味します。
問14	答え 2 金融政策	金融政策は、景気の加熱や不況に対処するための手段です。景気が良い時は金利を引き上げてお金の貸し出しを抑制し、逆に不況の時は金利を引き下げてお金の回りがやすいように調整します。この操作によって物価を安定させ、経済が順調に発展するように支えています。
問15	答え 4 政府の銀行	日本銀行は政府の預金を預かり、国税の受け入れや公共事業費などの支払いを処理します。この役割を担うことで、国の資金を安全かつ効率的に運用することが可能になっています。政府との連携が不可欠であり、中央銀行としての重要な職務の一つです。
問16	答え 1 輸入	円高になると、海外の商品を少ない日本円で買うことができます。これにより、燃料費や原材料費のコストが下がるため、輸入企業はコスト削減の恩恵を受けることができます。また、輸入品の価格が安くなれば、家計にとっても生活費を抑えられる効果があります。